

今日の要点 No. 1

5 式の値 比例式

$$(イ) \quad \frac{b+c}{a} = \frac{c+13a}{b} = \frac{a-c}{c} = k \quad \text{とおく!}$$

分数1項の等式が複数並んだら、= (文字) でおく!

すると、

$$\begin{cases} b+c=ak \\ c+13a=bk \\ a-c=ck \end{cases} \quad \text{となり、この連立方程式を解いてみると・・・}$$

(ロ)

(1) (イ)と同様に「=k」とおく。そして、連立方程式を足し合わせると・・・ $2(a+b+c)k=0$ となる →場合分け

(2) 分母の分数の多項式のときは(前回の復習)・・・

そこで、 $a^3 + b^3 + c^3 = (a+b+c)(a^2 + b^2 + c^2 - ab - bc - ca) + 3abc$ を思い出すと・・・

6 絶対値つき関数

※ 絶対値関数は場合分け→グラフは必ず折れ線で連続関数（つながっている）

※ 関数の問題はグラフを書く。

＜グラフの書き方＞

1. 原点
2. 軸の文字
3. グラフの式を書く
4. 通過する座標をできるだけ示す
5. その座標を含むか含まないか
6. 範囲に含まない部分は破線で

(例) $g(x) = |x - 4|$

場合分け：絶対値の中が正か負かで分ける

① $x - 4 \geq 0$ $x \geq 4$ のとき $g(x) = x - 4$

② $x - 4 < 0$ $x < 4$ のとき $g(x) = -x + 4$